

Orange Ring
オレンジリング、認知症サポーター（仮称）のあかしです。

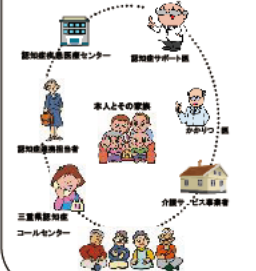
平成21年度第2回 三重県認知症地域支援体制構築等推進会議

～三重県の認知症対策について～

平成22年度当初予算（案）における県の認知症総合対策の概要

認知症に対する総合的な支援を一層強化するとともに、新たに若年性認知症対策として、支援窓口の設置や、自立支援に資する生活指導等を行う事業所をモデル事業所として選定し、その取り組みを支援します。

予算額 49,536千円



- 予防**
 - > 認知症サポーター養成講座
 - > キャラバン・メイト養成研修
 - > 地域支援体制構築等推進事業の活用
- 早めの気づき**
 - > 認知症サポート医養成研修
 - > かかりつけ医認知症対応力向上研修
- 医療**
 - > 認知症医療支援センター運営事業
- 介護**
 - > 認知症介護実践者等養成事業
 - > 認知症ケア多職種共同研修・研究事業
- 見守り・相談支援**
 - > 三重県認知症コールセンター事業
 - > 認知症サポーター養成講座（再掲）
- (新)若年性認知症対策**
 - > 若年性認知症ケア・モデル事業

認知症サポーター養成講座、キャラバン・メイト養成研修

- 目的**
認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職場において認知症の人や家族を支援する認知症サポーター等を養成することにより、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進する。
- 事業内容**
 - (1) 市町と協働した講座の開催
市町の要望を受け、市町と共に講座を開催。5市町で実施予定。
 - (2) 企業と協働した講座の開催
県民と接することが多い金融機関や、小売業等の企業で講座を実施
 - (3) キッズサポーターの養成
 - (4) みえ出前トークを活用した講座の開催
 - (5) 県職員を対象にした講座の開催
- 実施主体** 三重県、市町

認知症サポーターの養成状況

	人口 (A)	総世帯人口 (B)	高齢化率 (C)	メイト人数	サポーター数 (D)	メイト・サポーター数 (E)	人口あたりの割合 (C)×(E)/(A)	サポーター1人あたり 高齢者人口(数)×(C)
三重県計	1,858,282	426,888	22.8%	870	27,647	28,517	1.54%	15
津市	264,185	26,418	3.2%	22	4,452	4,474	0.71%	33
四日市市	304,058	81,058	26.3%	81	4,478	4,559	1.49%	14
伊勢市	134,120	32,947	24.6%	50	869	919	0.68%	38
松阪市	187,425	38,444	3.3%	65	2,315	2,380	1.24%	17
桑名市	128,144	27,328	19.8%	67	2,726	2,793	2.02%	18
津市	183,511	35,171	18.2%	46	594	640	0.33%	95
名張市	82,332	17,207	20.9%	50	869	919	1.10%	18
津市	22,943	7,428	32.7%	22	129	151	0.66%	48
津市	47,548	10,583	22.1%	7	204	211	0.44%	60
津市	22,995	6,383	27.8%	25	377	402	1.74%	18
津市	29,781	7,288	24.5%	18	245	263	1.25%	28
いなべ市	45,512	10,078	22.1%	33	392	425	0.93%	24
津市	59,387	17,341	29.2%	3	1,476	1,509	2.52%	11
伊勢市	97,058	28,195	27.0%	3	478	529	0.54%	50
津市	6,662	1,951	29.3%	15	187	202	3.02%	7
津市	26,485	4,488	17.0%	47	1,212	1,259	4.94%	4
津市	39,711	8,227	21.0%	68	748	816	2.04%	10
津市	4,462	1,909	42.8%	2	0	2	0.02%	800
津市	18,178	2,339	12.9%	0	82	82	0.45%	28
津市	18,344	4,282	23.3%	28	227	255	1.40%	17
津市	23,285	5,288	22.7%	32	492	524	2.25%	11
大倉町	10,889	3,088	28.3%	22	69	91	0.83%	41
津市	19,205	3,210	16.7%	14	456	470	2.45%	7
津市	3,159	2,309	73.1%	22	0	22	0.69%	105
津市	10,723	3,854	35.9%	5	839	844	7.80%	6
津市	18,952	6,894	36.4%	8	932	940	4.94%	7
津市	19,909	6,578	33.0%	38	189	227	1.12%	30
津市	3,902	3,115	79.8%	14	672	686	1.73%	6
津市	12,677	3,276	25.8%	17	330	347	2.78%	10

※メイト、サポーター数：全国キャラバン・メイト連絡協議会調べ（平成21年12月31日現在）
※人口・高齢者人口：総務省発表 住民基本台帳による（平成20年3月31日現在）

認知症地域支援体制構築等推進事業

- 目的**
地域において、認知症高齢者と家族を支えるためには、認知症への対応（予防、早期発見、ケア等）を行うマンパワーや拠点などの「地域資源」をネットワーク化し、相互に連携しながら有効な支援を行う体制を構築することが必要であることから、県内にモデル地域を設定して、先駆的に支援体制を構築し、県内の各地域にその成果を普及させる。
- 事業内容**
 - (1) 推進会議の設置
 - (2) モデル地域における地域支援体制構築事業
 - ・モデル地域の選定
 - ・コーディネーターの配置
 - ・地域資源マップの作成
 - ・地域支援体制構築事業（認知症ケア等のサポート、見守りネットワークの構築等）
- 実施主体** 三重県
モデル地域：四日市市（新規）、いなべ市（新規）、御浜町（継続・2年目）、紀宝町（新規）

認知症地域医療支援事業

- 目的**
認知症の診察に習熟し、かかりつけ医への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる認知症サポート医（推進医師）を養成することにより、各地域において、認知症の発症初期から状況に応じて、医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制の構築を図る。
また、高齢者が日頃より受診する診療所等の主治医（かかりつけ医）に対し、適切な認知症診断の知識・技術や家族からの話や悩みを聞く姿勢を習得するための研修を実施することにより、認知症サポート医との連携の下、医療と介護が一体となった支援体制の構築を図る。
- 事業内容**
 - (1) 認知症サポート医養成研修
 - (2) かかりつけ医認知症対応力向上研修
- 実施主体** 三重県

(参考)平成21年度末までの研修修了者数

研修名称	合計(人)
認知症サポート医養成研修	25人
かかりつけ医認知症対応力向上研修	264人

認知症疾患医療センター運営事業

- 1 目的
認知症疾患医療センターを設置し、保健医療・介護機関等と連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療、専門医療相談等を実施するとともに、地域保健医療・介護関係者への研修等を行うことにより、地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図る。
- 2 事業内容
 - (1) 介護との連携
専門の担当者の配置による介護（地域包括支援センター）との連携の強化を図る。
 - (2) 認知症疾患専門医療・医療連携研修
認知症を専門としない地域の一般開業医、かかりつけ医等を対象とし、最新の診療技術等に関する研修を実施する。
 - (3) 認知症疾患専門相談事業
地域の医療機関、一般住民等からの問い合わせ、相談を受け付ける窓口を設置する。その結果鑑別診断や専門的な治療が必要となった場合には連携する病院で対応する。
 - (4) 認知症疾患医療連携協議会（連携協力、事例検討 等）
地域の医療サービス（かかりつけ医、サポート医、専門医療機関）の連携を密にするため、懇談会を開催する。
 - (5) 広報
センターの連絡先等の周知を図る。
- 3 実施主体 三重県
- 4 設置箇所数 3箇所（東員病院、三重県立こころの医療センター、松阪厚生病院）

認知症介護実践者等養成事業

- 1 目的
高齢者介護実務者及びその指導的立場にある者に対し、認知症高齢者の介護に関する実践的研修を実施することにより、認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門職員を養成し、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。
- 2 事業内容
 - (1) 認知症介護実践研修（実践者研修、実践リーダー研修）
 - (2) 認知症対応型サービス事業開設者研修
 - (3) 認知症対応型サービス事業管理者研修
 - (4) 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修
 - (5) 認知症介護指導者養成研修
 - (6) フォローアップ研修
- 3 実施主体 三重県

認知症介護実践者等養成事業

（参考）各研修の養成人数

研修名称	合計(人)	研修名称	合計(人)
実践者研修 （～H16基礎課程）	1,373人	認知症介護指導者養成研修	22人
実践リーダー研修 （～H16専門課程）	108人	フォローアップ研修	9人
認知症対応型サービス事業 管理者研修 （H17グループホーム管理 者研修）	579人		
小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修	79人		
認知症対応型サービス事業 開設者研修 （～H17 認知症高齢者グ ループホーム開設予定者研 修）	177人		

※平成22年2月17日現在

認知症ケア多職種共同研修・研究事業

- 1 目的
地域において、認知症対策を推進する地域包括支援センター、ケアマネジャー、介護サービス事業所、医師等の専門職による認知症や認知症の医療・介護に関する研修や行政機関、自治会、ボランティア団体等を交えた地域資源の連携による取組に関する研修等を通じ、地域における認知症対策についての意識の向上と共通理解を図るとともに、地域の課題に対する具体的方策を講ずることを目的とする。
- 2 事業内容
 - (1) 対象者
ア 認知症高齢者の医療・福祉・介護等に携わる地域の専門職（医師、看護師、ケアマネ等）
イ 地域ケアネットワーク等に携わる地域の団体等（ボランティア団体、警察、消防、家族会等）
 - (2) 実施方法
ア 専門職研修
・認知症の医療や介護の専門家（認知症サポート医、指導者研修修了者等）による講義
・認知症高齢者の医療・福祉・介護に関わる地域の関係者による自らの専門分野に関する講義・報告等
イ 地域ケアネットワーク研修
・地域の関係者の紹介と交流
- 3 実施主体 市町（3市町を想定）

認知症対策普及・相談・支援事業

- 1 目的
認知症の本人や家族に対しては、認知症の各ステージにおいて、認知症の知識や介護技術の面だけでなく、精神面も含めた様々な支援が重要であり、各都道府県、指定都市単位で認知症介護の専門家や経験者等が対応するコールセンターを設置することにより、地域の実情に応じた効果的な支援を行うものである。
- 2 事業内容
認知症の本人や家族が、認知症介護の専門家や経験者等が対応するコールセンターによる電話相談事業。
- 3 実施主体 三重県（認知症の人と家族の会へ委託して実施）

（新規）若年性認知症ケア・モデル事業

- 1 目的
若年性認知症は、いわゆる現役世代が発症するが、若年性認知症に対する認識が不足し、診断される前に症状が進行し社会生活が事実上困難となるケースや、本人やその家族、企業及び医療機関が若年性認知症を知っていても、活用が可能な福祉や雇用の施策があまり知られていないことなどから、経済的な面も含めて本人とその家族の生活が困難になりやすいことが指摘されている。本事業はこれらの問題を解消し、若年性認知症者一人ひとりが、その状態に応じた適切な支援を受けられるようにすることを目的とする。
- 2 事業内容（案）
介護保険法施行例（平成10年政令第412号）第2条第6号に規定する初老期の認知症の者に対し取り組みを実施する事業所に対して支援する。
 - (1) 総合的な支援窓口として「コーディネーター」を配置し、若年性認知症の人やその家族に対する適切な支援へつなぐ取り組み
 - (2) 地域における総合支援窓口の役割を担うコーディネーターの養成
 - (3) 若年性認知症のケアの質の向上にかかる取り組み
- 3 実施主体 三重県